

---

# 経済 TOPICS

No. 206  
(2022年12月20日)

## 景気ウォッチング（要旨）

- 日本 … 輸出、消費や設備投資が緩やかに持ち直しているほか、雇用も改善傾向にあることから、全体としては緩やかに持ち直している。この間、資源・食料価格の高騰に伴う物価上昇や、欧米諸国の金融引締めに伴う経済減速の影響が懸念されるなど、先行き不透明感が強い状態が続いている。
- 米国 … 中古住宅販売が減少し続けているものの、生産が引き続き緩やかに持ち直しているほか、消費や設備投資が堅調に推移していることから、全体としては回復を続けている。雇用も堅調で、非製造業の景況感も改善している。消費者物価は、前年比上昇幅は縮小しているものの、高水準が続いている。
- 欧州 … 生産は横這い圏内の動きながら、消費や設備投資が改善していることから、緩やかに持ち直している。この間、ロシアのウクライナ侵攻の長期化に伴い、景況感が悪化しているほか、インフレが継続している。
- 中国 … 生産は持ち直しているものの、消費が低迷を続けているなか、輸出が減少に転じ、不動産開発投資が大幅な減少傾向にあることから、全体としては減速し続けている。



京都銀行グループ

京都総合経済研究所

---